

様式第五十の三（第48条第6項関係）

認定事業再編計画の実施状況の概要の公表

1. 認定の日付

令和3年9月17日

2. 認定事業再編事業者の名称

株式会社福邦銀行、株式会社福井銀行

3. 認定事業再編計画の実施期間

令和3年10月～令和6年3月

4. 事業再編に係る事業の達成状況等

（1）事業再編に係る事業の達成状況

認定計画に基づき、以下のとおり事業再編を行った。

（事業の構造の変更）

・出資の受け入れ

福邦銀行は、第三者割当増資を実施し、これを福井銀行が引き受ける。その効力発生にて福邦銀行は福井銀行の連結子会社となる。

＜第三者割当増資の概要＞

払込日 令和3年10月1日

募集株式数普通株式 33,333,334株

払込金額 1株につき150円

払込金額総額 金5,000,000,100円

福井銀行が取得する福邦銀行の議決権の数および議決権所有割合

議決権の数 33,333個

議決権所有割合 51.98%

（事業の分野又は方式の変更）

お客さま・地域に対して、商社や人材派遣・紹介会社の共同運営を開始、地域内M&A・ビジネスマッチングの協働、グループ会社の共同利用などを実施した。効果的・効率的な業務運営に向けて、店舗戦略の連携強化、共同ATMの拡充、本部機能の統合を実施した。営業店窓口端末の共通化については、令和8年度以降に導入する方向で検討している。人の融合・未来に向けて、Fデザイン（両行の若手職員を中心に、両行職員の一体感の醸成、相互の成長を目的とする）の推進により、自治体との連携、ウェルビーイング向上、人財交流や、人事制度の見直し等、計画通り事業を実施した。

(前向きな取組)

事業再編計画の実行により、令和6年3月期の業務収益全体に占める収益シナジーの構成比は2.2%と計画比1.0%プラスとなっている。

(2) 生産性の向上を示す数値目標の達成状況

生産性の向上については、令和5年度は令和3年度と比べて従業員1人あたりの付加価値額を106%に向上させることを目標としていたところ、実際には99%と未達となった。

また、財務健全性については、令和6年3月期における当行グループの有利子負債がキャッシュフローの10倍以内とする目標に対して、実績は福邦銀行から福井銀行への貸付金や、日銀オペ（気候変動対応含む）による資金調達により、有利子負債（主に借入金）が増加したほか、経営基盤の強化を図る目的で、含み損を抱える有価証券の売却を進めたことなどにより、60.1倍となり未達となったが、令和6年3月期における経常収入が経常支出を上回ることをとする目標に対しては、実績113.5%となり目標を達成した。

5. 事業再編に伴う労務に関する事項

(1) 事業再編の開始時期の従業員数

株式会社福邦銀行 415名

株式会社福井銀行 1,410名

(2) 事業再編の終了時期の従業員数

株式会社福邦銀行	計画	358名	実績	353名
----------	----	------	----	------

株式会社福井銀行	計画	1,334名	実績	1,352名
----------	----	--------	----	--------

(3) 事業再編に充てた従業員数（令和6年3月実績）

株式会社福邦銀行	計画	358名	実績	353名
----------	----	------	----	------

株式会社福井銀行	計画	1,334名	実績	1,352名
----------	----	--------	----	--------

(4) 新規採用された従業員数（令和6年3月までの実績）

株式会社福邦銀行	計画	34名	実績	25名
----------	----	-----	----	-----

株式会社福井銀行	計画	103名	実績	68名
----------	----	------	----	-----

(5) 事業再編に伴い出向又は解雇された従業員数（令和6年3月までの実績）

出向	計画	0名	実績	0名（短期間での出向除く）
----	----	----	----	---------------

転籍	計画	0名	実績	0名
----	----	----	----	----

解雇	計画	0名	実績	0名
----	----	----	----	----